

知床の窓から見えるもの

2018年1月29日（月曜日）

【壮大な知床半島で暮らして】

皆さん、はじめまして。

平成29年10月1日より診療所3階にある通所リハビリセンターで働いているリハビリ技師です。以前は同じ孝仁会系列である、釧路市の老人保健施設に勤めていました。

正直なところ、まさか自分が行ったことも無く親戚もない土地で暮らすとは思ってもみなかったもので、異動当初は戸惑うことが多かったです。

しかし、幸いなことに私はアウトドアが趣味であり、知床連山や野生の動物たち(特にオオワシが好きです)、羅臼から見る美しい朝日、ウトロから見る真っ赤な夕日、綺麗な空気、等々、知床半島にあっという間に魅了され、今では羅臼町民であることを誇りに思います。山や動物たちを美しく撮りたいという思いが膨らみすぎて、ついに一眼レフを購入してしまったほどです！

また、利用者様、御家族様、羅臼町民の皆さんも大自然の中で暮らしているだけあって懐が深く、温かいです。このような素敵な環境で生活を送り働けることに感謝しています。

巷では少子高齢化や主要産業の衰退など暗い話題が増えてきましたが、私は自分に与えられた職務を全うし羅臼町の未来に貢献できるよう、これからも知床半島を愛し、知床半島での生活を思う存分楽しんでいきます！宜しくお願いします！

